

盆栽の管理方法

盆栽の美しさを保ち、健やかに育てるためには、日々の丁寧な管理が欠かせません。
基本的な管理のポイントをご案内いたします。

■ 水やり

頻度

盆栽の管理で最も大切なのは水やりです。

土が乾いたと感じたときに、鉢底から水が流れ出るまでたっぷりと与えるのが基本です。

乾き方は季節によって異なるため、以下を目安にしてください：

春・秋：1日1回 / 夏：朝と夕方の2回 / 冬：2～3日に1回

ただし、日当たりや風通しなどの環境によっても乾き具合は変わります。土の表面や重さを確認しながら、状態に合わせて水やりを行いましょう。

方法

水やりは、鉢底から水が流れ出るまで、たっぷりと与えることが大切です。

方法は2つあります：

ジョウロで与える方法

→ 水がしみにくい場合は、数回に分けてしっかり浸透させましょう。

→ 水が入らないときは、竹串などで鉢底まで突いて水がはけるようにしてください。

どぶ漬け（水に浸す方法）

→ 鉢全体に水が行き渡るため、確実な水やり方法としておすすめです。

→ 水に浸すと気泡が出る為、気泡が出なくなったらしっかりと水が入っているサインです。

■ 置き場所

盆栽は基本的に屋外での管理が望ましく、日光と風通しが重要です。

室内での鑑賞も可能ですが、日中は屋外に置き、夜間のみ室内に取り込む、または週に2日程度だけ室内に置くといった工夫をするとよいでしょう。日光は1日6時間以上が理想です。

風通しの悪い場所や、室外機・エアコンの風が直接当たる場所は避けてください。

夏場は、もみじや楓など日差しに弱い樹は葉焼けに注意し、遮光ネットや西日を避けた配置を心がけましょう。松柏類は遮光の必要はありません。

また、コンクリートや石の上は熱を持ちやすいため、木の台や板の上に置くのが安心です。

自然と向き合うひとときを、盆栽とともに楽しみください。